

令和4年度 杜の都のエコ・スクール活動報告

学校番号	121	学校名	仙台市立桂小学校	校長名	舟山 秀人
------	-----	-----	----------	-----	-------

1 「桂」もっという町プロジェクト（4年生 総合的な学習の時間）



2 取組の紹介

自分たちが暮らしている「桂」の町の環境に目を向け、どうすれば地域の環境がよくなるかを考えて、自分たちのできることを実践していく学習活動です。地域にある公園の環境を調査に行ったり、花の苗をプランターに植えて桂の地域の緑道や公園に置いたりしました。さらに、桂地区緑化活動を行っている地域の方々の取組について教えていただいたり、桜に堆肥を入れる活動に参加させていただいたりしました。自分たちの住む町の環境をよくするために、地域の大人の人たちが丁寧に取り組んでいることを学び、考えを深めています。



3 取組の成果（児童生徒の変容）

自分たちにもできる桂の町への環境への取組がないかと考えを深めていました。地域の方々に花を眺めて元気になってもらいたいと、プランターにメッセージを添えて緑道や公園に設置しました。地域の「桜の会」が見守ってきた「大倉緑地」の桜並木に、来年もきれいな桜の花が咲くようにと、木の根元に堆肥を入れる活動に参加させていただきました。



また、桂の町のすばらしさをうたった「桂音頭」は、総合的な学習の時間に学習した桂地区の美しい環境がうたわれており、地域の方々に踊りを教えていただき、春の運動会で「桂音頭」を披露しました。秋の市民センター祭りでは、桂地区の環境をテーマにしたポスター作りに取り組み、作品を展示させていただきました。

令和4年度 杜の都のエコ・スクール活動報告

学校番号	112	学校名	仙台市立柳生小学校	校長名	黒田 章博
------	-----	-----	-----------	-----	-------

1 よりきれいな柳生小学校を目指して



2 取組の紹介

○ ごみ回収

- ・給食のときに出るストローの袋などのプラごみを積極的に集め、リサイクルに協力しています。また、プラごみに加え紙ごみのごみ入れも、各学級にそれぞれ専用で用意しています。
- ・プラごみ、紙ごみ以外を入れるごみ入れは、ふた付きのものを使用し、袋は毎日交換することで感染症対策も行っています。

○ 環境委員会の放課後チェック

- ・毎週金曜日の放課後に、環境委員会の児童が各学級を回っています。処理し忘れていたごみはないか、教室はきれいに整理されているかなどをチェックしています。

○ 環境委員会制作のポスター掲示

- ・分別、椅子やスリッパなど身の回りの物の整理整頓を呼び掛けるポスターを作成しました。

3 取組の成果（児童生徒の変容）

- ・分別ボックスは継続して利用しているため、各学級で紙類やプラごみの分別が習慣化され、雑紙等の回収が自然に行われています。
- ・環境委員の児童のコメント入りのチェック表を黒板に貼って残すことで、各学級の振り返りに利用でき、きれいな教室を維持しようとする意欲につながっています。
- ・環境委員会が作成したポスターにより、児童が見逃してしまいがちな分別や身の回りの環境整備への意識付けにつながっています。
- ・上記の取組をとおして、学校全体で「資源になるものは分別しよう」「学校をきれいにしよう」という意識が高まっています。これからも、「環境のためにできること」について、家庭にも呼び掛けながらエコ活動を推進していきたいと考えています。



雑紙入れ



プラごみ回収ボックス



分別ボックス (教室用)



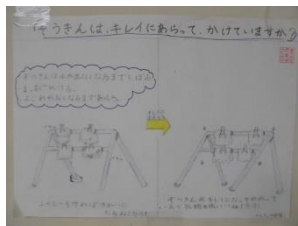
ふた付きごみ入れ



環境委員会作成ポスター



環境委員会作成ポスター



環境委員会作成ポスター



→環境委員会作成ポスター

令和4年度 杜の都のエコ・スクール活動報告

学校番号	123	学校名	仙台市立市名坂小学校	校長名	阿部 淳一
------	-----	-----	------------	-----	-------

- 1 取組のタイトル, テーマ
自分たちにできる, 身近なエコ活動



2 取組の紹介

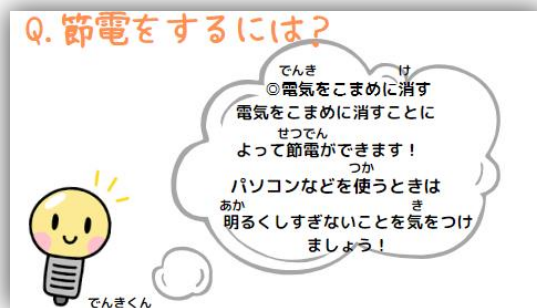
○ 環境委員会の活動

(1) 節水や節電の呼び掛け

環境を守るために, 節水や節電について知ってもらいたいと考え, ポスターと動画を作成しました。ポスターを校内に掲示したり, 動画を給食時に校内放送したりして全校へ節水や節電の大切さについて呼び掛けました。



作成したポスター



作成した動画(一部)

(2) 花の苗植え

季節に合わせて, 花の苗植えを行っています。今年度は春にマリーゴールド, 冬に葉ボタンとチューリップの球根を植えました。除草から土の入れ替え, 花がらつみ, 水やりと子供たちが一年を通じて世話をしています。また, 堆肥には市内の学校給食センターや単独調理校から排出される生ごみなどを堆肥化した「杜のめぐみ」を泉環境事業所からいただき, 仙台市の生ごみの減量・リサイクルに協力しています。



花がらつみの様子

○ 給食委員会の活動

昨年度, 5年生は総合的な学習の時間で「食」について学習し, 食品ロス問題の解決に向けてポスターを作るなど様々な取組を行うことで, 校内の児童へ食品ロスが多くあることを広めました。身近な食品ロスである給食の残食に目を向け, 今年度は, 給食委員会が給食を残さず食べたかクラスごとチェックする活動に取り組みました。残食が少なかったクラスは校内放送で表彰しました。

3 取組の成果 (児童生徒の変容)

季節に合わせて花の苗植えを行うことで児童が季節の自然に親しみ, 自然のよさを感じることに繋がっています。また, 必要以上に水や電気を使わないように子供同士で声掛けをしたり, 食べ物に感謝の気持ちを持ち, 苦手な物でも食べてみようとしたりする姿が見られました。

令和4年度 杜の都のエコ・スクール活動報告

学校番号	124	学校名	仙台市立愛子小学校	校長名	佐藤 雅智
------	-----	-----	-----------	-----	-------

1 「愛子こどもの森」での自然体験活動



2 取組の紹介

愛子小学校には、「愛子こどもの森」という地域の地権者の方々から借り受けた森があります。学校に隣接しており、子供たちは自然に関わる様々な学習活動を行っています。

愛子の森での学習は、「愛子こどもの森 森の応援団 愛子ハグリッツ」の皆さんにお手伝いいただくことで、普段の生活の中では体験できない活動を行うことができます。今年度も3年生が、「こどもの森の番人」として、森を題材とした様々な学習活動に取り組みました。

ハグリッツさんを講師に迎え、森で見付けたものをビンゴ形式で確認する活動、マイツリーを決め、年間をとおしてその木の観察をする活動、きのこの植菌や観察をする活動、カブトムシと触れ合う活動、森の生態系について考える活動などを展開しました。子供たちは、一年を通じて森での季節の変化に触れ、自然の豊かさを直に感じることができました。

「愛子こどもの森」は、低学年の生活科や、特別支援学級の生活単元学習、ハグリッツさんが主催する休日の親子参加型の森の観察イベントなどにも活用されています。



3 取組の成果（児童生徒の変容）

愛子小学校の子供たちにとって愛子の森は地域の親しみのある身近な場所です。そこでの活動は、子供たちの楽しみでもあります。3年生では、総合的な学習の時間の柱に設定し、年間をとおして様々な活動に意欲的に取り組みました。活動を通して愛子の森の豊かさを学び、自然を大切にしようとする気持ちを育成することができました。

令和4年度 杜の都のエコ・スクール活動報告

学校番号	125	学校名	仙台市立富沢小学校	校長名	伊藤 恵子
------	-----	-----	-----------	-----	-------

1 取組のタイトル, テーマ

◎教室を空けるときは、「戸締めり・消灯！」運動



2 取組の紹介

体育や図工, 休み時間など, 教室が無人になる時に, 照明のスイッチを切ったり戸締めりをしたりして, 不必要な電力の消費を減らそうという活動に取り組みました。ステッカーを各教室に貼ったりキャッチコピーを用いたりして意識を高めました。

以前まで, 授業時間に校舎内を巡回すると, 移動教室のため無人になっている教室の照明が点いていたり, 戸が開いたままでエアコンが稼働したりするクラスが多く見られました。



体育をしている学級
照明が点いている
戸が開いている



図工をしている学級
照明が点いている
エアコンが稼働している
窓が開いている
戸が開いている

そこで, 快適な学習のために必要な電力は使う一方で, 不必要な電気を削減・節約できるようにしようと取り組みました。



各学級に配布した
節電のステッカー



各学級での活用のしかた
出入り口や, スイッチの周辺に貼るクラスが多い



3 取組の成果 (児童生徒の変容)

活動を始めると, 子供が照明を消したり, 戸締めりしたりしようとする姿が見られました。また, それまで子供はスイッチ類を触らないというきまりがあったクラスでは, 戸締めり係や消灯係が新設され, 子供が活躍できるようになりました。子供だけでなく, 教員の意識も変わり, 全校で「空き教室の戸締めり・消灯運動」に取り組むことが出来ました。

近年は, 新型コロナウイルスの拡大防止のため校舎内の換気が求められています。夏の暑い日や冬の寒い日にも窓や戸を数cm開けることが必要となり, エアコンの効きも悪くなっています。体調や学習のために必要な電力は使う一方で, 無駄な電力の消費を削減していこうという意識を持つことができました。

令和4年度 杜の都のエコ・スクール活動報告

学校番号	126	学校名	仙台市立泉松陵小学校	校長名	早坂 順子
------	-----	-----	------------	-----	-------

1 取組のタイトル, テーマ

けやき山活動 ～環境問題学習と森林保全活動～



2 取組の紹介

今年度、泉松陵小学校の5年生は、総合的な学習の時間に「環境」をテーマに活動をしてきました。

仙台市立泉松陵小学校は、仙台市の北東部に位置する松陵団地の中にあります。学区の東部は県民の森、北部は富谷市の丘陵地帯に接していて、森に囲まれた静かな環境です。学習の始めでは、ストップ温暖化センターみやぎの御協力をいただき、ケンタロ・オノ氏から「地球温暖化によってキリバスが海に沈んでしまうかもしれない」という講話を聴きました。講話から世界が様々な環境問題を抱えていることを知り、児童が興味を持ったことについて更に深く調べることにしました。児童が興味を持った問題ごとにグループに分かれ、課題に対する原因や対策法について調べました。



【グループ】

- 道・階段グループ (道・階段の補修・整備)
- 遊具グループ (ロープ遊びや木を使った遊び)
- 看板グループ (看板の補修)
- ベンチ・展望台グループ (ベンチ作り・展望台の補修)
- 除伐グループ (危ない枝, 不要な木の伐採)
- 肥料グループ (草木に肥料を与える)
- 工作グループ (草木を使った工作)

学習を通して様々な諸問題において、森林が大きな役割を果たしていることを知ることができました。これらの活動を経て、子供たちは、より身近な学校にある「けやき山」に目を向けました。「けやき山」とは、校庭の南側にある人工林で、夏は虫取り、冬はそり遊びなどの場となり、子供たちにとってよい遊び場となっています。この「けやき山」をこれからも守っていくために、森林インストラクターの方々と一緒に「けやき山」を散策しながら、各自の課題を見付けました。また、授業参観ではグループごとに活動のまとめを発表し、保護者にも自然の大切さを伝えることができました。



3 取組の成果 (児童生徒の変容)

「けやき山」での実践をとおして、自分たちが住む地球は様々な環境問題を抱えていることを知りました。「けやき山」という人工林は、手を入れすぎてしまうと生態系が崩れてしまい、人間と自然の共存ができなくなってしまうことに気付くことができました。また、活動を通してたくさんの方が関わり、協力することで自然を守っていることを実感することができました。自然と人との関わり方についてより深く考えることができました。

令和4年度 杜の都のエコ・スクール活動報告

学校番号	127	学校名	仙台市立錦ヶ丘小学校	校長名	菅原 弘一
------	-----	-----	------------	-----	-------

1 取組のタイトル, テーマ

「錦ヶ丘小学校 エコプロジェクト～持続可能な社会を目指して～」



2 取組の紹介

1年生 育てた植物は最後まで大切に

生活科「きれいにさいてね」の学習では、アサガオの種を蒔いて大切に育てました。夏には、咲いた花を使って押し花やたたき染めなどを楽しみ、秋には、たくさんの種を収穫しました。最後に根が付いたつるをリースとして使い、育てたアサガオをほとんど捨てるところなく使いました。学習をとおして、植物を大切にすること、資源を無駄なく使うことを経験することができました。



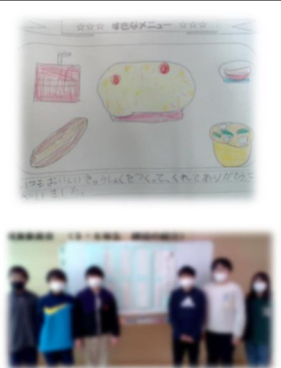
3年生 「錦ヶ丘探検隊～錦の未来を探れ～」

総合的な学習の時間で、地域の環境整備を行っている3つの団体と天文台の方をゲストティーチャーとして招き、お話をうかがいました。豊かな自然があり、環境が整備されているのは、地域で活動している人のおかげだと知り、将来は、環境整備などに参加していきたいという気持ちを持ちました。



給食委員会

お昼の放送で、「食品ロス」について呼び掛けたり、給食に関する標語を作り、読んだりすることで、食に関心を持ち、残食を減らそうと呼び掛けました。



地域の自然体験活動への参加

愛子こどもの森応援団ハグリッズの主催事業に児童が参加しました。また、ハグリッズの方が校内放送を利用して、自然の尊さと、重要性を呼び掛けました。



3 取組の成果（児童生徒の変容）

エコプロジェクトを通しての児童の変容は以下のとおりです。

- ・「SDGs」の観点から授業を実施したことによって、環境に配慮する意識が育まれました。
- ・給食委員会からの「食品ロス」の呼び掛けや、日々の給食指導によって、学校全体の残食率は低下してきています。
- ・アサガオのリース作りや残食をなくす取組など、様々な活動をとおして、今ある資源を大事にしようとする意識が育まれました。

令和4年度 杜の都のエコ・スクール活動報告

学校番号	128	学校名	仙台市立荒井小学校	校長名	千田 博史
------	-----	-----	-----------	-----	-------

- 1 取組のタイトル、テーマ
「学校全体で取り組む環境活動」

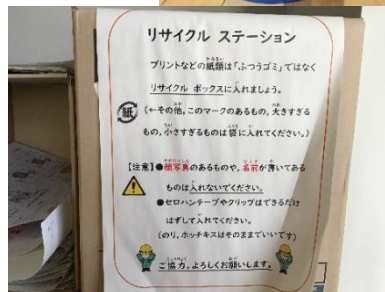


2 取組の紹介

本校では、エコや緑化を意識するような取組を日常的に行っています。また、総合的な学習の時間等を中心に、身近な環境だけでなく、地球環境について考える授業も行い、環境保全に対する理解を深めています。

(1) ゴみの分別

各学級や特別教室には、「燃えるごみ」と「プラスチックごみ」の二つのゴミ箱を設置しています。また、古紙をリサイクルするために、「リサイクルステーション」を設置し、紙類を分けて集めて、リサイクルを積極的に行う取り組みをしています。



(2) 緑化活動

生活委員会では、花壇に花を植えたり毎日水やりをしたりして、緑あふれる学校作りを進めています。

(3) 総合的な学習の時間

4年生、5年生では、外部講師を招き、南極大陸の様子について学習しました。南極の自然や動物、観測隊の生活を詳しく知り、南極を調べることの意味や自然環境を守ることの大切さを学びました。

また、5年生では、地域の環境に着目した学習も行いました。学校の近くにある水田に息づく生き物や植物の観察をしました。水田の生き物についてよく知る方々にお話をうかがいながら、学習を進めました。



3 取組の成果 (児童生徒の変容)

- 日頃から分別やリサイクルに取り組むことで子供たち自身が考えながら活動する姿が見られました。また、高学年を中心に緑化活動に進んで取り組み、緑化に対する意識を学校全体へ広めています。
- 総合的な学習の時間では、南極大陸の様子から地球の姿を知り、それが地球を守ることに繋がるということに気付きました。また、地域の環境についても学ぶことで、自然環境を守っていくことの大切さを身近なものとして捉えたり、命のつながりを感じたりすることができました。